

寺山修司生誕90年記念

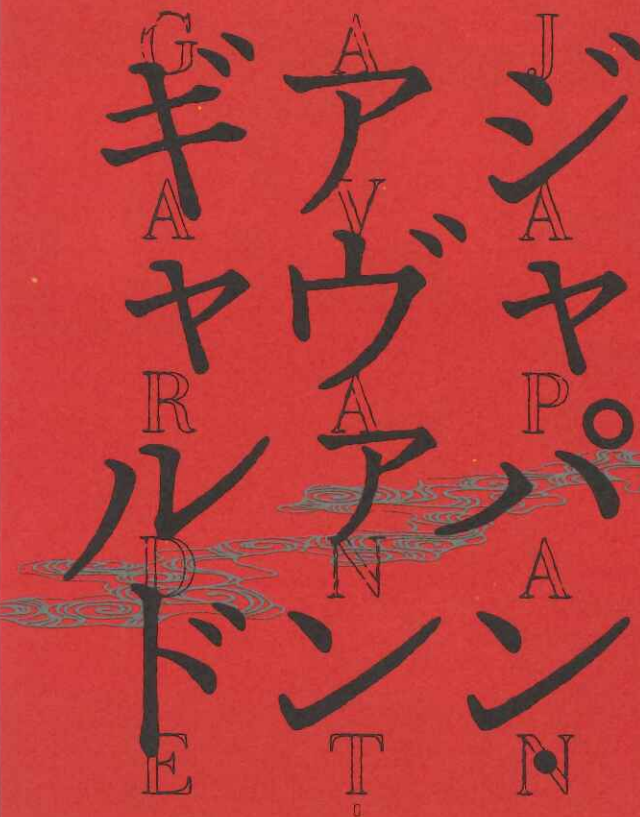
この展覧会は、ポスターハリス・カンパニーの2万点以上所蔵する「現代演劇ポスターコレクション」から厳選された、1960～1970年代のカウンターカルチャーの一翼を担った、アングラと呼ばれる小劇場演劇の傑作ポスターの数々を展示します。

1960～1970年代にかけて、世界の若者の既成の秩序に対する異議申し立てに同調するように、日本の演劇界でも新劇とはまるで異質な世界を創造することを目指した「アングラ演劇(小劇場運動)」が勢いを持ち、寺山修司、唐十郎、鈴木忠志、佐藤信、串田和美らが、それまでにない実験的な舞台を繰り広げていきました。この時代、舞台と相乗効果をもたらすユニークなビジュアル表現で観客の心を揺さぶったのが天井桟敷、状況劇場、黒テント、自由劇場、大駱駝艦などの「劇団の旗印」として登場したポスターの数々です。ある意味でポスターがアングラ演劇の先導的役割を果たし、時代を挑発し、現在はその象徴として存在しています。

このアングラ演劇のポスター群には、横尾忠則をはじめとして、栗津潔、赤瀬川原平、宇野亜喜良、金子國義、篠原勝之、平野甲賀、及部克人、串田光弘、及川正通、榎本了亮、花輪和一、林静一、合田佐和子、戸田ツトムなど、多くの一流アーティストがかかわっています。彼らの手によるポスターは、単なる公演告知のポスターの枠を越え、アングラ演劇の軌跡を鮮やかに示すとともに、日本が熱く燃えた時代を鋭く切り取り、ポスター自体が発するメッセージは時代を越え今も輝き続けています。なぜこれらのポスター群が輝きを失わないか、その理由の一つに、ポスターのデザイナーが実際の舞台の美術も担当した事があげられます。ポスター1枚に舞台のトータルイメージが凝縮され、時にはそのデザインが舞台の演出にまで影響を与えたことも少なくありません。

そんな作品群を見ていると、今にもその舞台が蘇ってくるような興奮に包まれます。まさに、1920年代の「ロシア・アヴァンギャルド」のポスター群を凌駕する日本のポスターの傑作群＝「ジャパン・アヴァンギャルド」と言えるでしょう。

ここ数年1960～70年代の現代美術を再評価する展覧会が数多く開催され、今回展示されるポスターも「時代の証言者」として重要な位置を占めています。さらに、当時の貴重な関連資料に加え、60年代から70年代の、時代を挑発した優れたデザインのポスターも展示します。お見逃しなく。



ジャパン・アヴァンギャルド アングラ演劇傑作ポスターから時代を挑発したポスター



2026年1月8日(木)～25日(日) 11:00～20:00
入館は19:30まで
1月13日(火)休館日
岡山芸術創造劇場 ハレノワ 小劇場
おかやま文化芸術振興事業 [入場無料]

〈ギャラリー解説ツアー〉

2026.1.11 (日) 15:00～ 予約不要
笹目浩之(ウルトラポスターハリスター)による
ポスター解説を行います。

〈ギャラリートークショー〉

2026.1.12 (月・祝) 15:00～ 予約不要
会場:アートサロン(4F)
篠原勝之(ゲージツ家)
小堀純(無宿編集者)
笹目浩之(ウルトラポスターハリスター)

ご来場にあたって

- やむを得ない事情により、公演内容・出演者が変更になる場合がございます。
- 手荷物をお預けする場合は、返金式コインロッカーをご利用ください。
- タクシーで来場される場合、地下駐車場で降車できます。(※迎車・配車はできません。)
- 障がいなどの理由により歩行が困難な方は、専用の車両スペースをご利用いただけます(事前申込・先着順)。詳しくは施設利用担当(086-201-8016)までお問合せください。



主催：岡山市、公益財団法人岡山文化芸術創造 企画・製作：ポスターハリス・カンパニー



60年代から70年代の「街＝劇場」を彩った、〈革新・前衛〉的な演劇ポスターの集大成!! これは日本が世界に誇る〈美意識〉の見本市です。
数々の天才たちが行き急いだ、その足跡が刻まれたポスターたち。これはベル・エポックやロシア・アヴァンギャルドに匹敵する、美の反乱である。

ジャパン・アヴァンギャルド

アングラ演劇傑作ポスター100
100 Poster Masterpieces from Underground Theatre

編集: 森原茂夫(カマル社)・笹目浩之(ポスターハリス・カンパニー) 装丁: 東學(188) A3正寸(297×420mm)/120頁 本体価格: 6,600円(税込)
PARCO出版 <https://publishing.parco.jp>